



ドキドキ！合同交流学習

上郷小と芦ヶ崎小の3年生が津南小に集まり、一緒に学習をしました。

「上郷小と芦ヶ崎小の3年生はどんな気持ちで津南小に来ると思う？」と問うと「違う学校に来るのは不安だと思う。」「津南小の人数がすごく多いから、仲間に入りにくいと思う。」と子どもたち。どうすると3校のみんなが楽しめる合同交流学習になるかを考えました。

みんなが楽しめる方法

- ・自分から話しかける。
- ・やさしい言葉を使う。悪口を言わない。文句を言わない。
- ・困っていたら、やさしく教える。
- ・仲良く遊ぶ。いじわるをしない。仲間はずしをしない。
- ・うるさくしないで、話をきちんと聞く。



そして、当日。上郷小と芦ヶ崎小の3年生が到着すると「やった～！！楽しみ。」と話していた子どもたちも急にシ～ン…。緊張した雰囲気が漂いました。



【国語：自己紹介ゲーム・様子を表す言葉集め】

名前や好きな物などを紹介し合いながら、名前を覚えていくゲームをしました。ゲームをする中で、自然と笑顔になり、緊張がほぐれていきました。打ち解けてきたところで、グループごとに様子を表す言葉集めに挑戦！「にこにこ笑う」「くすくす笑う」「げらげら笑う」「シクシク泣く」「わ～んわ～ん泣く」「えんえん泣く」など、おもしろい表現を集めることで会話が弾み、笑い声も聞こえるようになりました。また、様子を表す言葉を使うと、その状況がよく分かることを学習しました。



【体育：じゃんけん列車・風船バレー・風船リレー】

上郷小の丸山先生が体育の学習を進めてくださいました。“グループのみんなで協力して楽しむ”というめあてを確認してからスタート。じゃんけん列車でさらに緊張をほぐし、グループで手をつなぎながら風船バレーをしました。「キャ～、風船が落ちる～！」「パスして～！」「こっちにもちょうだ～い！」などと楽しそうな声が体育館に響きました。最後に、2人ペアでうちわや新聞紙、タオルで風船を運びリレーで盛り上がり、体育の学習を終えました。



【給食】

いつもよりも食器の数が増え、給食当番の子どもたちは大忙し！配膳のために子どもたちが列を作る様子を見て、芦ヶ崎小の大島先生は「こんなに長い列を作って配膳したり、何かの活動をしたりすることはないから、新鮮な感じがする。」とおっしゃっていました。なるほど～！と納得した子どもたちでした。そして、グループごとに、昼休みに何をして遊ぶかを決めながら食べました。「外に遊具があるよ。」「教室でトランプもできるよ。」「わくわく池に行ってみる？」とっても和やかな雰囲気でした。



子どもたちのふい返し

- ・3時間目に国語をして、4時間目に体育をしました。いつもより、べんきょうが楽しかったです。また、いっしょに学習することがあったら、もっと友だちをつくりたいです。
- ・心にのこったのは、自こしょうかいです。だんだんむずかしくなって、くせんしました。でも、みんなの名前をおぼえられたのでよかったです。
- ・わたしたちは、みんなで力を合わせて風船をおとさずに風船バレーをしました。みんなとできてきうれしかったし、楽しい風船バレーになりました。
- ・昼休みに校庭のゆうぐであそびました。タイヤ、ブランコなどであそびました。楽しかったです。
- ・みんなが帰って、わたしたちはそうじをして教室にかえったら、あしがさき小の人たちが座っていたいすがかたづけてあって、さみしかったです。

緊張しながらも、自分たちで考えた「みんなが楽しめる方法」を意識しながら楽しむ姿がすばらしかったです。

しかし、一方で、勝敗にこだわってしまい、体育の学習では相手を責めてしまったり、負けたことを怒ってしまったり…。分担を決める時に男女がペアになると「男子とは嫌。」「女子とはやりたくない。」という言葉が発してしまったり、じゃんけん列車の時に男女でじゃんけんをしているとそれを冷やかすような眼差しで見えてしまったり…。活動に夢中になる気持ちも、男女を意識する気持ちも分かりますが、相手のことを考えてその気持ちは心にしまってほしかった、と残念に思いました。

7月に2回目の合同交流学习が予定されています。その時に向けて、またこれからの学校生活の中で、友達との関わり方について子どもたちと一緒に考えていきたいです。

お願いと連絡です。ご協力をお願いします。

体力テストのアンケートについて

生活や運動に関するアンケートがあります。子どもたちが自分で答えにくい内容がありますので、おうちで一緒に取り組んでください。お手数ですが、おうちの方が記入してくださると助かります。**6月24日（火）までに提出**をお願いします。

水泳学習の持ち物の追加です

プールに向かう時に履く**サンダル**をご用意ください。記名してください。